

第7期横浜市子ども・子育て会議 第2回保育・教育部会  
第35期横浜市児童福祉審議会 第2回保育部会 合同部会 公開議事会議録

日 時	令和7年3月24日(月) 18時～20時30分	
開催場所	市役所18階 みなと1・2・3会議室	
出席者	石井部会長、山瀬副部会長、稲田委員、尾木委員、大澤委員、大庭委員、倉根委員、清水委員、斉田委員、森委員	
欠席者	なし	
開催形態	公開(一部非公開)	
議 題	<p>議事&lt;公開案件&gt;</p> <p>【子ども・子育て会議】</p> <p>(1) 保育所及び認定こども園における3歳児以上の利用定員が2歳児の利用定員を下回る定員設定について</p> <p>議事&lt;非公開案件&gt;</p> <p>【子ども・子育て会議】</p> <p>(2) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員について</p> <p>(3) 幼保連携型認定こども園の認可及び建設費等補助金交付先法人の審査について</p> <p>【児童福祉審議会】</p> <p>(4) 保育所の認可及び内装整備費補助金交付先法人の審査について</p> <p>(5) 居宅訪問型保育事業の認可について</p> <p>(6) 民間保育所老朽改築事業における補助金交付先法人の審査について</p> <p>(7) 乳児等通園支援事業の認可について</p>	
議 事	(1) 保育所及び認定こども園における3歳児以上の利用定員が2歳児の利用定員を下回る定員設定について	
	山瀬副部会長	議事(1) 保育所及び認定こども園における3歳児以上の利用定員が2歳児の利用定員を下回る定員設定について、事務局から説明をお願いします。
	事務局	資料に沿って説明。
	山瀬副部会長	それでは、ただいまの事務局の説明について質問や意見がございましたらお願い致します。
	大庭委員	説明ありがとうございます。実際、こういう対処をしなければいけないという、ここに至った事例がたくさんあると思います。我々も、横浜市でどのくらいこういうケースに当てはまる園があるのか知りたいです。
	事務局	3歳以上の定員が2歳に比べて入所数が下回ってしまうような場合

		<p>は、例えば3歳以降で幼稚園に転園するといったケースもございます。横浜市のほうでこの考えに基づいてシミュレーションしてみたところ、今の状態ですと、10数園程度この状態にあるような園がございます。実施するに当たってのメリット、デメリットというのはあると思いますので、各園のほうで御判断いただいて、申請をしていただけるかどうか承っていきたいと思います。</p> <p>そのときに、この保育園は途中でみんな幼稚園に行っちゃうらしいという印象になりますよね。それが現実という感じですかね。</p> <p>2歳と3歳以降で説明をしてまいりましたが、実態としては、0歳から5歳まで定員割れをしているような園もございます。今回の場合ですと、2年間以上状態が続いているということが条件としてありますので、そういった実態に即して考えていければいいと思います。</p> <p>補足させていただきますが、先ほど最初の説明で地域特性というお話をさせていただきました。実はこの傾向があるのは、正直ベースで言うと青葉区が実は非常に多い、ほとんどを占めているという形になっています。1・2歳は保育所に入れるのですが、3歳からは小学校を見据えて幼稚園に入れたいという、そこは地域特性で、そのために1・2歳は保育所利用、3歳からは幼稚園に行ってしまうので、保育所の定員が少なくなってしまうという実情がございます。その点で、大庭委員から御指摘のあった、この保育園は大丈夫かというよりは、その地域の保護者の皆さんのニーズではないですけども、そういうところから行われているところがあるので、北部エリアがそういう傾向が強いのかなと思っていますが、そういう地域で、こういう定員構成をしていくというふうに考えています。</p> <p>もう一つ、これは清水委員にもお聞きしたいのですが、実際、預かり保育とか幼稚園が始められて、定員減というところではカバーができているのでしょうか。幼稚園側の印象としては、どのような感じですか。</p> <p>カバーができているというのはどのような意味でしょうか。</p> <p>少し増えた、定員割れが少なくなったという意味です。</p> <p>それよりも少子化の加速のほうが目撃という印象です。今、244園あるのですが、来年のスタートには240園になります。それだけ閉じてしまう園が出ているというのが実態です。また、大庭委員と反対の言い方になりますけれども、11月1日に3歳児から入りますと申込みをしておいてもらい、1月末、2月頭に保育所が決まったから、やはりそちらに行きますというのは、私の園で今年度は2人でした。去年、</p>
	大庭委員	
	事務局	
	事務局	
	大庭委員	
	清水委員	
	大庭委員	
	清水委員	

	<p>大庭委員 山瀬副部長</p> <p>山瀬副部長</p>	<p>一昨年ですか、神奈川区の園の先生に伺ったところ、15人いたとのこと です。その園の規模としてもそんなに大きくないところで、15人が 急遽そこで保育園に行ってしまうというのはすごく大きな減収、か といって、保育園にも同じことが言えると思いますけれども、先生を確 保しないほうがいいのかとなると、また話は違いますし、年度の途中 で、もう来年はなしですと言えませんので、そういうところでは、今 回の提案は安定的な運営という意味では必要なことであると考えま す。</p> <p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>ほかに御意見ございませんでしょうか。</p> <p>では、委員の皆様にお伺いいたします。当部会の意見としては、事 務局の示したとおり認めることとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ここで公開案件が終了となりますので、一旦事務局にお戻しします。</p>
--	------------------------------------	--